

校長室だより For Our Children's



HP

Smiles2026

～ 子供たちの笑顔のために～



湖北小学校

第 6 号

5月7日発行

運動会練習開始号

文責 加藤理巳

運動会練習の始動にあたって ～「学び」と「優しさ」が交差する場に～

新緑の候、保護者の皆様におかれましては、ゴールデンウィークをいかがお過ごしになられたでしょうか。

連休が明け、学校には子どもたちの活気ある声に戻ってきました。今月からはいよいよ運動会練習が始まります。

この時期を迎えるにあたり、私の歩みと、本校教職員が準備に込めた想いをお伝えさせていただきます。

◎私の原体験:スポーツは「心」を育てる

私自身、中学から大学までバレーボール部に所属し、仲間と切磋琢磨する毎日を過ごしてきました。また、高校の体育教師として多くの子どもたちとグラウンドや体育館で向き合ってきた経験から、確信していることがあります。

それは、スポーツの本質は「勝ち負け」以上に、そのプロセスで「自分や仲間とどう向き合ったか」にあるということです。私が教育の世界に入った際、改めて感じたのは、運動が得意な子どもも苦手な子どもも、それぞれのハードルを乗り越える瞬間にこそ、人間としての本当の成長があるということです。

◎4月からの準備を「最高の学び」へ

今回の運動会に向けて、体育主任を中心に各学年の担任一同は、4月の年度初めから綿密な計画を立ててきました。「どうすれば子どもたちが主体的に動けるか」「どんな工夫をすれば、運動が苦手な子どもも達成感を味わえるか」。先生たちは放課後や空き時間を使って議論を重ね、一人ひとりの顔を思い浮かべながら準備を進めてまいりました。この4月からの準備のバトンを、いよいよ子どもたちへと手渡す時期が来ました。

◎2026年合言葉「優しさ優先、習うから学びへ」の体現

今年のキャッチフレーズを、運動会練習という最高の機会に形にしていきたいと考えています。

「優しさ優先」: 足の速い子どもはもちろん、苦手意識がある子どもどうすれば早く走れるようになるのかを考えてみる。失敗した仲間を責めるのではなく、次の作戦を一緒に考える。そんな「優しさ」が溢れる練習風景を、大切にしていきたいと思います。

「習うから学びへ」: 教師の指示を待つだけの「習う」姿勢から、自分たちで動きを工夫し、仲間と助け合い、そして高め合う「学び」の姿勢へ。子どもたちが自ら考え、行動するプロセスを支援していきたいと思います。

◎教職員一丸となり、健康を最優先に支えます

運動経験があるからこそ、この時期の練習がいかに体に負担をかけるかも熟知しています。全教職員が一体となり、安全に万全を期してまいります。こまめな水分補給、休憩の質、そして熱中症対策を徹底します。また、一人ひとりの「変化」を見逃さず、4月から継続して子どもたちを見守ってきた学年・学級担任が、体力的な疲れだけでなく心の動きにも寄り添い、安心して挑戦できる環境を整えていきたいと思えます。

◎保護者の皆様へのお願い

子どもたちが全力で走り抜けるためには、ご家庭の支えが何よりの「応援」になります。体調管理のサポートとして、十分な睡眠と朝食の摂取、そして水筒やタオルの準備など、細やかなご協力をいただけますと幸いです。また、ぜひ保護者の皆様にはお子様の「プロセス」を褒めていただきたいと思います。帰宅したお子様に「今日はどうだった?」「何ができるようになった?」といった、結果だけではない頑張り聞いてあげてくださいと幸いです。運動会当日、どの子どもが「自分が主役だった」と感じられるよう、教職員一同、情熱を持って伴走してまいります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。



昨年の運動会より



昨年の運動会より2

